



肥満について

皆さんのわんちゃん・ねこちゃんは適正体型ですか？
 肥満になると病気を発症するリスクが高くなります。
 関節炎や心臓病・呼吸器疾患・糖尿病など様々な病気になりやすく、寿命を縮める原因にもなります。
 最近では生活環境の変化により肥満傾向のわんちゃん・ねこちゃんが多く見られ、ダイエットが必要になっています。
 しかし、人と同じく無理なダイエットは良くありません。
 今回は正しい減量方法についてお話します。

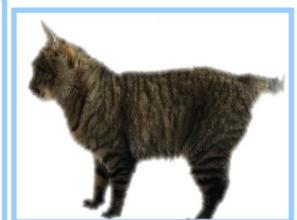
適正な体型とは？



わんちゃんの体型は写真のように上から見ると三角形でくびれがあります。
 ねこちゃんの体型はくびれがなく長方形のように見えます。
 またボディコンディションスコア（BCS）といったものがあり、毛で覆われているため体型が分かりにくい子もいます。
 なので、肋骨や腰のくびれを触って体型を確認しましょう。

BCSスコア

理想体型



※BCS4～5が適正な体型といわれています

なぜ太るの？

肥満の原因は、1日の消費カロリーよりも摂取カロリーが多い事(食べ過ぎ)や運動不足が主です。食事に加え、おやつを与える事が過剰摂取になっている事が多いです。適正体重よりもわんちゃんは体重が15%、ねこちゃんは体重が20%多いと肥満と判断します。

(例)

3kgが適正体重のわんちゃん→3.45kg以上が肥満
4kgが適正体重のねこちゃん→4.8kg以上が肥満



私達にとっては少しの体重増加かもしれませんがそれが肥満となっている事があります。わんちゃんねこちゃんの体型を確認して体重測定してみましょう。



フードを減量する時の注意点

絶食でダイエットをすると、体内に入ってくるタンパク質が不足してしまいます。また、急激な体重の減少はねこちゃんの場合、肝臓に脂肪が貯蓄して肝臓が機能しなくなる病気(肝リビドーシス)になり命の危険に至ります。肥満による体重の増加分は主に脂肪です。脂肪はカロリーを消費しないため、与える食事の量を適正体重に設定しても体重は減りません。減量する目的での給餌量の設定が必要となります。また、通常の食事を減量すると、ビタミンやミネラルなどの必要な栄養素も減ってしまうこともあります。量をはかる時は、カップなどで適当にはかるのではなく、料理用のはかりを使ってください。

減量フードの特徴

減量用フードにはL-カルニチンが豊富に入っているため健康的に脂肪を代謝し、筋肉量を維持します。また、脂肪と高食物繊維の配合により健康的に減量でき、リバウンドにも配慮しています。減量に合わせて食事量を減らしても、ビタミンやミネラルが高い密度で配合されていることも特徴のひとつです。その子に合った様々な種類の食事があります。療法食は獣医師の処方が必要なため一度ご相談ください。

おやつについて

おやつは1日に必要な摂取カロリーの10%までにして、おやつ分の食事量を減らして下さい。早食いをしてしまう場合は食べるのに時間がかかるような知育玩具を使用してみましょう。



こちらが知育玩具のおもちゃの一部になります。ぜひ参考にしてみてください。遊び方が分からない場合はスタッフまでお声掛け下さい。

適正体重や、減量目的の給餌量については診察で相談してください。健康的な体づくりをしましょう！

